

プロテロックメイク 残存型枠工法 プロテロックピアスワンダー

NETIS

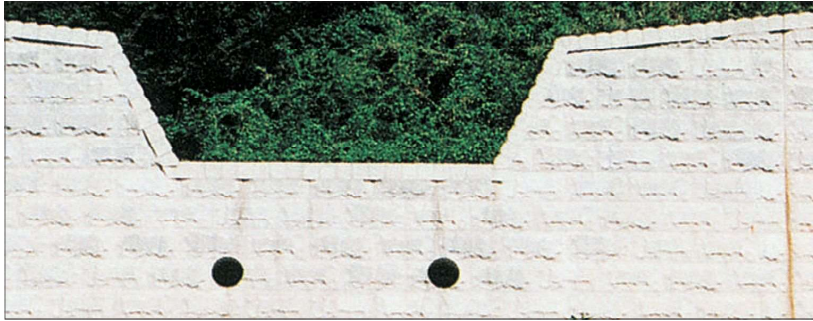
No.CB-980007-VE
【掲載終了商品】

NETIS

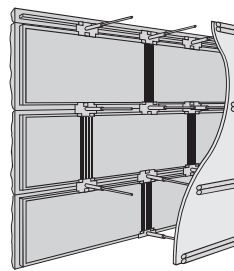
No.CB-980008-VE
【掲載終了商品】

建設技術審査証明取得／(財)土木研究センター

特長



- プロテロックメイクは、残存型枠工法です。
- 型枠の中に支保工になるアングル・メッシュが内蔵され、内側より引っ張り、取付けられます。
- 表面デザインやカラーバリエーションも豊富です。
- 型枠は工場生産され、現場での解体補修作業が不要で廃棄物も出ないため、工期と労務費が大幅に削減されます。
- 型枠表面へ目的に応じた処理を施すことで、内部のコンクリートを保護し、耐久性を向上させることが可能です。



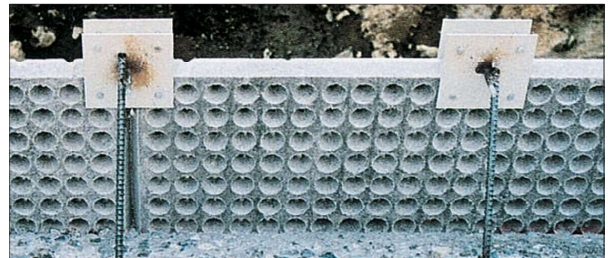
プロテロックメイク II

- プロテロックメイクIIは、よりコストダウンを図るために、プロテロックメイクから表面化粧を省いた粗面タイプの残存型枠です。



プロテロックピアスワンダー

- プロテロックピアスは、最もコストダウンを図った製品で、本体に多数の貫通穴を設けることで運搬・組立・加工を容易にし、コンクリート打設の充填確認ができる薄型残存型枠です。



間伐材カチオンフレーム工法 間伐材丸太を利用した残存型枠工法

- 間伐材カチオンフレーム工法は、軽量で施工性に優れた鋼製のカチオンフレームを縦横方向に組み立て、間伐材を型枠として構造物の内側から固定し、型枠の脱型をしない工法です。



間伐材を建て込む
間伐材の形状を確認しながら出来るだけ隙間なく垂直になるように建て込みます。



間伐材固定
カチオンフレームに4cm間隔で空いている穴から専用の六角ボルトビスで間伐材を固定します。



組立完成